

6. 奈良公園地区の特色および近年の動向

1. 奈良公園地区の特色

(1) 特色

- 明治13年の開設以来、公園の拡張や整備を繰り返し、その時々諸問題に対処してきた奈良公園は、わが国を代表する公園として、また県有数の観光地や都市近郊の自然地として、現在も広く親しまれている。
- 平成10年に奈良公園に隣接する文化財である東大寺や春日大社、興福寺、奈良公園内の春日山原始林を含む8つの資産が「古都奈良の文化財」として世界遺産に登録された。
- 東大寺などの寺社仏閣、若草山や春日山原始林などの自然、国立博物館などの文化施設といった多くの観光資源が点在し、それらを奈良公園の緑地や園路が有機的に繋いでいる。この歴史と文化、自然、公園の融合が、独特の景観を形成している。
- 奈良公園地区の地形は西側から東側へ平地～丘陵地～山地となっており、その高低差は観光資源と相まって豊かな眺望を生み出している。また、若草山頂からは奈良の街並みを一望することができる。
- 寺社仏閣で行われる伝統行事や山焼きやなら燈花会やなら瑠璃絵などのイベント・催事が奈良公園地区に数多く存在する。
- 天然記念物「奈良のシカ」が生息し、独特の景観をつくり出している。また、観光客がシカと触れあうことができる。

奈良公園地区における主なイベント・催事（2010年度）

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
県	普賢山焼き 1/23							ライトアッププロムナードなら 7/17～3/26				
東大寺	修正会 1/7	二月堂修二会（お水取り） 2/3	3/1～3/14	聖武天皇御忌 4/8	仏生会 5/2		解願会 7/28	大仏さまお身拭い 7/28				仏名会 12/14
興福寺	追善会 2/1	涅槃会 2/15	仏生会 4/8	放生会 4/17	文殊会 4/25	5/11～5/12	昇龍 7/7	井野天祭 7/7		大般若会 10/17	慈恵会 11/18	弘法特別公開 10/7～11/23
春日大社	舞楽始式 1/11（成人式）	舞楽 2/3	春日祭（申祭） 3/15	御田植祭 3/15	雛祭り 3/15	5/10	中元万燈籠 8/14～8/15	采女祭 8/22（中秋の夕月）	文化の日 9/8	萬葉雅集 10/3	春日若草おん祭 12/15～12/18	
他社寺			水谷神社 4/7	水谷神社 4/7	氷室神社 5/1			手向山 10/5		八幡宮 10/5		
その他	鹿寄せ 1/28～	なら瑠璃絵 2/11～2/14	芝能 3/22	芝能 3/22	3/20		なら燈花会 8/5～8/14	高円山 8/15	大文字送り火 8/15	鹿の角切り 10/9～10/11	正倉院展 10/23～11/11	

(2) 交通

- 主要近接都市から電車（近鉄、JR）、車（第二阪奈道路、京奈和自動車道、名阪自動車道など）を利用し、約1時間でアクセスすることができる。

2. 近年の動向

(1) 観光客数

- 奈良市年間観光客数（平成16年～平成20年） 単位：千人

年次	総数	宿泊客				日帰客			
		総数	一般	外国人	修学旅行	総数	一般	外国人	修学旅行
平成16年	12,933	1,977	1,825	34	118	10,956	9,916	273	767
17	13,050	1,928	1,791	36	101	11,122	10,128	287	707
18	13,468	2,063	1,931	36	96	11,405	10,369	316	720
19	13,883	2,188	2,052	42	94	11,695	10,531	450	714
20	14,351	2,284	2,147	47	90	12,067	10,912	471	684

奈良市への観光客の総数及び外国人観光客数は増加傾向にあるが、修学旅行客数は減少傾向にある。また、日帰り客が全体の約8割を占める。

(2) 奈良公園地区に関する近年の動向

- 奈良の歴史・文化・自然・景観への関心が高まっている。
（世界遺産登録（H10）、平城遷都1300年記念事業の開催（H22））
- 燈花会やなら瑠璃絵などの夜間イベントは、メディアに数多く取り上げられ、多くの観光客が集まるようになった。
- 公園施設の老朽化への対応や景観の向上を図るため、若草山麓の園地整備や春日野園地および若草山麓のトイレ整備、五十二段の補修などを実施している。

(3) 新たなニーズ

- 近年、旅行の個人化・成熟化によって、旅行者ニーズが多様化し、とりわけ地域独自の魅力を活かした体験型・交流型観光へのニーズが高まっている。
- 急速な少子・高齢社会の進展等により、すべての人が自らの意思で自由に移動できるように、施設や道路等のバリアフリー化が求められている。

奈良公園は、開設当初より各時代の要請に応じて公園を拡張し、整備を繰り返し、その時々諸問題に対処しながら、現在の姿を形作ってきた。一方で、新たに生じてきた問題・ニーズ等への対応が求められている。

○奈良公園地区の魅力

奈良公園地区の整備に向けて、奈良公園地区の魅力を整理する。

奈良公園地区の魅力として考えられるもの・・・

主に奈良公園地区の魅力を構成する要素が美しく調和した他に類をみない風致景観

例えば

- ・ 広大な面積に芝生と森林があり、広がりを感じられる
(さえぎるもののない広々とした空間)
- ・ 目前に若草山、春日山原生林を含む山々が連なる(豊かな自然)
- ・ 東大寺、春日大社などの社寺及び文化財との共生
(建築物、歴史文化体験)
- ・ 鹿の遊ぶ風景(鹿との共生)
- ・ 猿沢池、鷺池などの水辺空間
- ・ 山焼きなどの伝統行事
- ・ 静かな環境、平和な風景
- ・ 四季の移り変わりを感じられる
- ・ 若草山頂からの眺望 など



猿沢池から五十二段、興福寺を望む



なら燈花会開催時の浮雲園地から若草山



桜の季節に春日野園地から見る御蓋山



桜の季節に鷺池、浮見堂、御蓋山を望む

奈良公園の魅力を構成している要素とは

◇歴史的・文化的要素

- ・ 周辺社寺
(東大寺、春日大社、興福寺、氷室神社、新薬師寺、元興寺など)
- ・ 庭園地(吉城園、依水園、大乘院庭園)
- ・ 住宅(吉城園主棟、今西家住宅など)
- ・ 国宝・重要文化財(建造物)(東大寺金堂、春日大社本殿など)
- ・ 国宝・重要文化財(美術品)(阿修羅像、赤糸威鎧など)
- ・ 史跡鶯塚古墳 など

◇自然的・環境的要素

- ・ 若草山、御蓋山、五十二段 など
- ・ 園地(猿沢池園地、登大路園地、みとりい池園地、浅茅ヶ原園地、春日野園地、浮雲園地など)
- ・ 特別天然記念物春日山原始林、天然記念物奈良のシカ、天然記念物知足院ナラノヤエザクラ など
- ・ 自然植生、植栽樹木、芝生 など

◇行催事

- ・ 鹿の角きり、春日若宮おん祭、采女祭、二月堂修二会、追儺会、薪御能、若草山焼、なら燈花会、なら瑠璃絵、ライトアッププロムナード・なら、バサラ祭り など

◇その他

- ・ 博物館、美術館など

明治初期以降、整備、拡張などの変遷があったものの、周辺市街地・山麓・社寺等とのバランスが保たれて、奈良公園のイメージを保持してきており、更なる魅力の向上に向けて、奈良公園地区の魅力との調和が大切

○ 奈良公園地区の現状と課題

現在の奈良公園地区は、環境、観光、交通に関する課題も多く、これらの課題に対して、適切な対応を図ることが求められている。

(拠点整備に関すること)

- ・ 奈良公園地区内には低未利用の県有地が多数点在している。
(旧副知事公舎、旧青少年会館、古都買入地など)
- ・ 奈良公園の魅力を構成する「奈良のシカ」を管理している鹿苑が老朽化している。 など

(観光に関すること)

- ・ 閑散期などのイベントが少なく賑わいが不足している。
- ・ 奈良観光の情報発信が不足している。 など

(交通・移動環境整備に関すること)

- ・ 歩行環境の未整備や管理不足等により、「歩く楽しみ」「見る楽しみ」を低減させている
- ・ 若草山、新薬師寺、正倉院など奈良公園の中心から離れた施設は観たくても観ることが出来なかった人が多い。
- ・ 奈良公園地区周辺は観光シーズンに観光バス等の駐車待ちの車などで、交通渋滞が発生している。など

奈良公園地区の更なる魅力の向上に向けて、現状と課題の解決を図り、かつ更なる魅力の活用・創造を図る



古都買入地の現況
(高畑裁判所跡地付近)



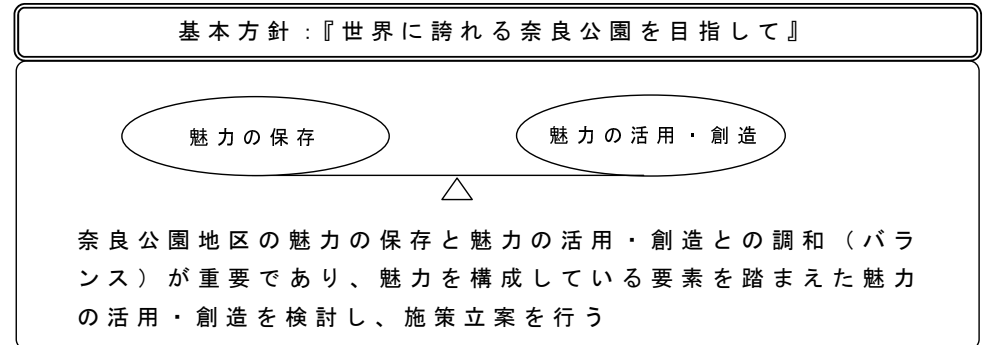
ガードケーブルの破損・劣化
(水谷茶屋付近)



観光シーズンの交通渋滞
(県庁前付近)

○ 奈良公園地区の更なる魅力の向上に向けた方針

奈良公園地区の特質、魅力や課題を踏まえ、多様な価値を多くの人々に享受していただき、公園としての適切な活用を図るために、以下の方針を定める。



◇ 魅力の活用・創造について

(公園の新たな拠点整備について)

『奈良公園の新たな魅力の創出』

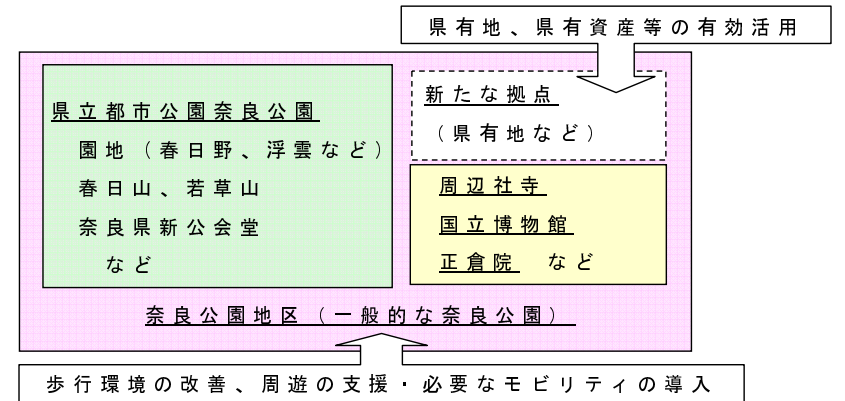
→ 県有地、県有資産等の有効活用 など

(交通・移動環境整備について)

『もっと奈良公園を楽しむために』

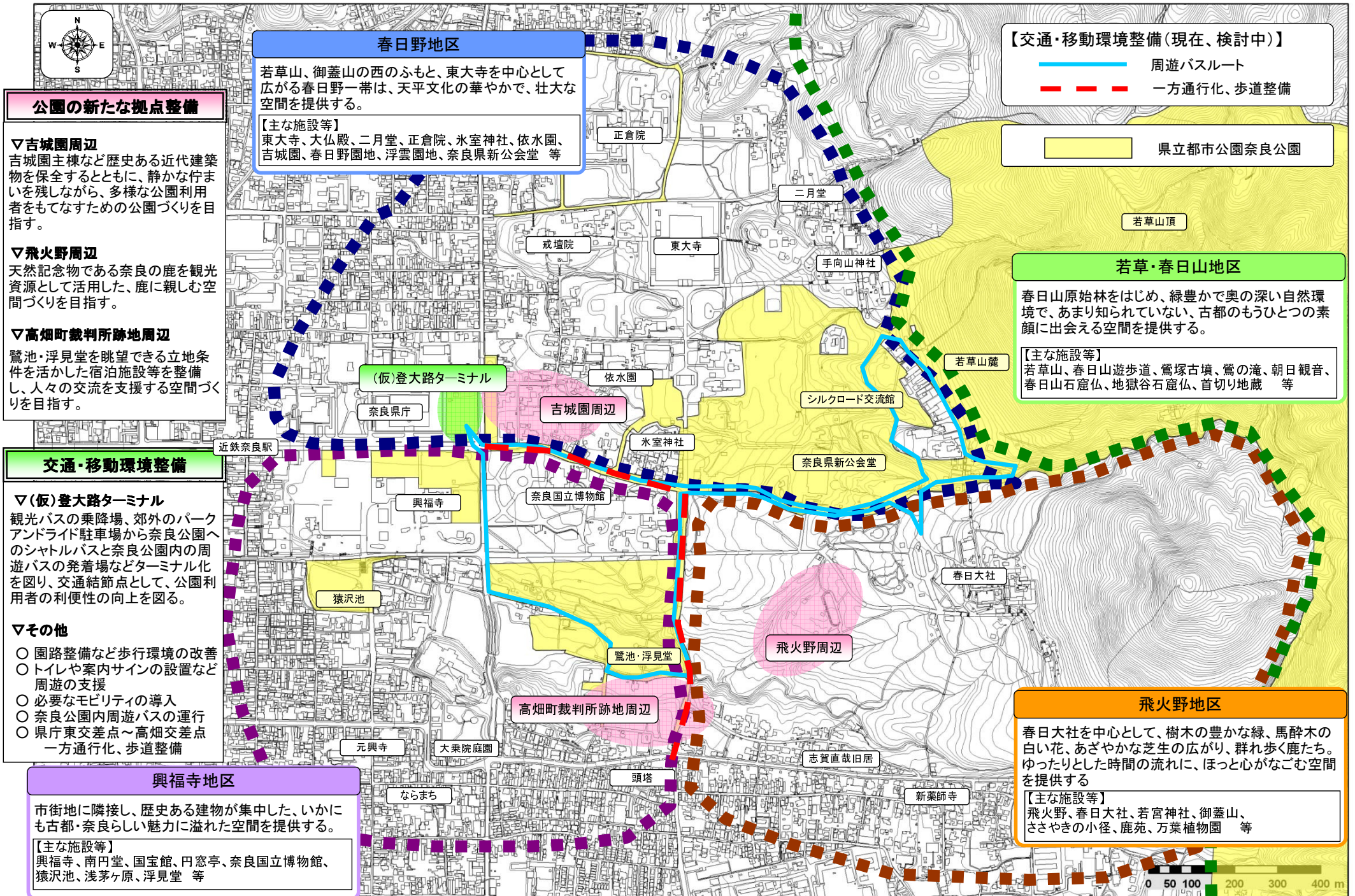
→ 歩行環境の改善、周遊の支援、必要なモビリティの導入など

【参考】奈良公園地区の構成と実施する施策のイメージ



奈良公園地区の環境整備（歩行環境の改善、周遊の支援）について

→ 別途、関係者協議会を立ち上げ、整備方針等の検討を実施



公園の新たな拠点整備

▽吉城園周辺

吉城園主棟など歴史ある近代建築物を保全するとともに、静かな佇まいを残しながら、多様な公園利用者をもてなすための公園づくりを目指す。

▽飛火野周辺

天然記念物である奈良の鹿を観光資源として活用した、鹿に親しむ空間づくりを目指す。

▽高畑町裁判所跡地周辺

鷺池・浮見堂を眺望できる立地条件を活かした宿泊施設等を整備し、人々の交流を支援する空間づくりを目指す。

交通・移動環境整備

▽(仮)登大路ターミナル

観光バスの乗降場、郊外のパークアンドライド駐車場から奈良公園へのシャトルバスと奈良公園内の周遊バスの発着場などターミナル化を図り、交通結節点として、公園利用者の利便性の向上を図る。

▽その他

- 園路整備など歩行環境の改善
- トイレや案内サインの設置など周遊の支援
- 必要なモビリティの導入
- 奈良公園内周遊バスの運行
- 県庁東交差点～高畑交差点 一方通行化、歩道整備

興福寺地区

市街地に隣接し、歴史ある建物が集中した、いかにも古都・奈良らしい魅力に溢れた空間を提供する。

【主な施設等】
興福寺、南円堂、国宝館、円窓亭、奈良国立博物館、猿沢池、浅茅ヶ原、浮見堂 等

春日野地区

若草山、御蓋山の西のふもと、東大寺を中心として広がる春日野一帯は、天平文化の華やかで、壮大な空間を提供する。

【主な施設等】
東大寺、大仏殿、二月堂、正倉院、水室神社、依水園、吉城園、春日野園地、浮雲園地、奈良県新公会堂 等

【交通・移動環境整備 (現在、検討中)】

- 周遊バスルート
- 一方通行化、歩道整備

県立都市公園奈良公園

若草・春日山地区

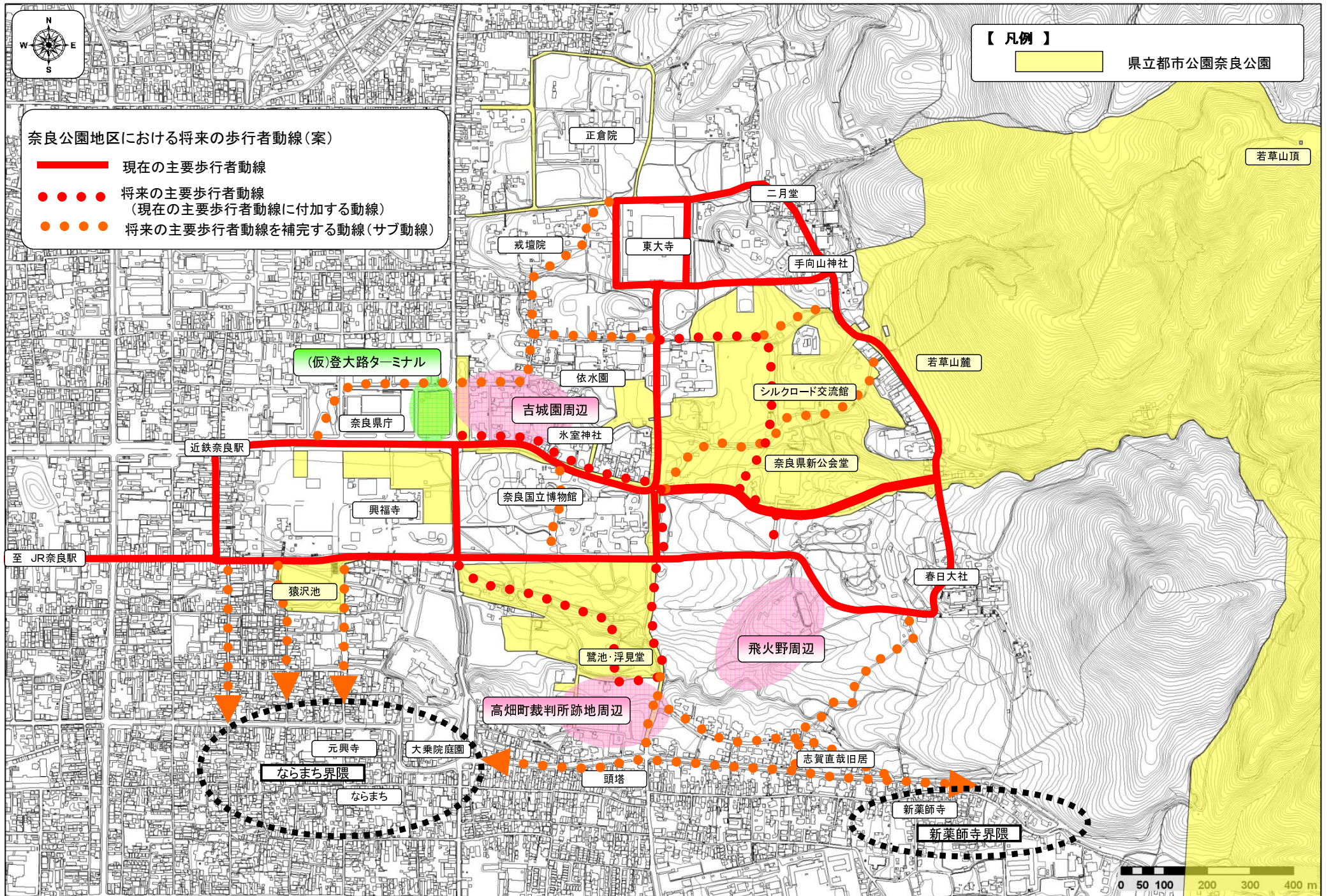
春日山原始林をはじめ、緑豊かで奥の深い自然環境で、あまり知られていない、古都のもうひとつの素顔に出会える空間を提供する。

【主な施設等】
若草山、春日山遊歩道、鶯塚古墳、鶯の滝、朝日観音、春日山石窟仏、地獄谷石窟仏、首切り地蔵 等

飛火野地区

春日大社を中心として、樹木の豊かな緑、馬酔木の白い花、あざやかな芝生の広がり、群れ歩く鹿たち。ゆったりとした時間の流れに、ほっと心がなごむ空間を提供する

【主な施設等】
飛火野、春日大社、若宮神社、御蓋山、ささやきの小径、鹿苑、万葉植物園 等



平成20年度～22年度にかけて奈良公園で取り組んだもの

- 施設の老朽化への対応(五十二段、トイレなどの改修)
- 施設のバリアフリー化(多目的トイレ、スロープ園路の設置)
- 景観の向上(若草山麓の整備、大仏前参道やその他園路の舗装)など

【奈良公園周辺】
・案内サイン整備



【若草山麓】
・トイレ改築 ・園地整備



【大仏殿参道】
・参道石張り舗装



猿沢池・五十二段

【猿沢池・五十二段】
・五十二段補修



【国立博物館前歩道】
・園路舗装 ・照明整備



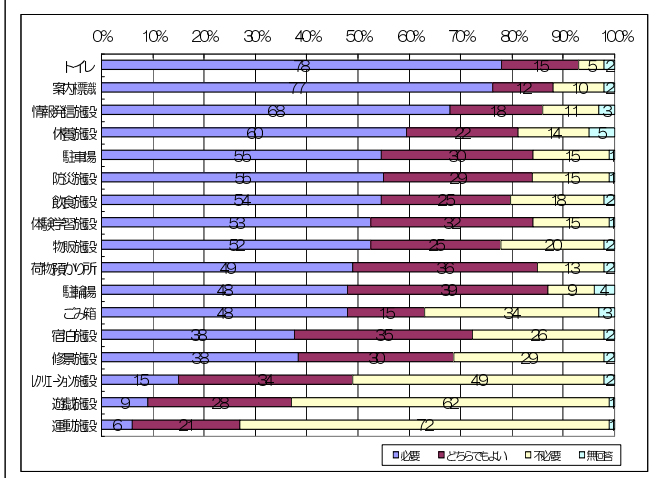
【春日野園地】
・園路舗装 ・トイレ改築、スロープ設置



1. 奈良公園の利用満足度に関するアンケート

【実施概要】
 実施場所：奈良公園（主に東大寺周辺）
 実施日：平成22年1月9日（土）～1月14日（木）
 回答者：130人
 （近畿圏：約60%、関東圏：約15%、中部圏：約10%）
 実施主体：奈良県公園緑地課

【アンケート結果】（抜粋）
 Q 奈良公園にどのような施設が必要だとお考えですか。
 A （下記の項目から選択・複数回答可）

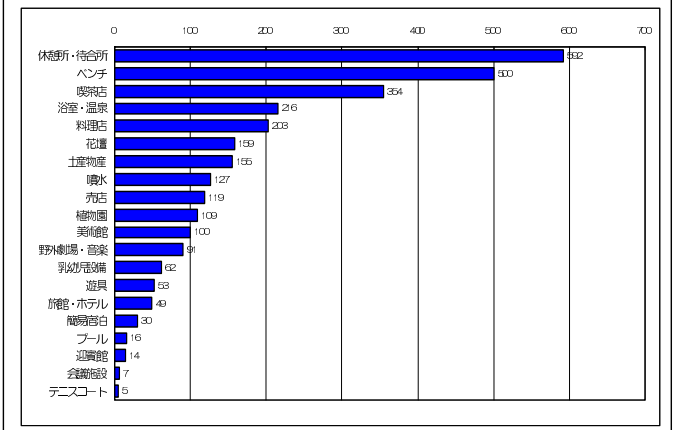


【アンケート結果から分かること】
 ◇ 50%以上「必要」と回答されたものの得票順は、トイレ、案内標識、情報発信施設、休憩施設、駐車場、飲食施設、体験学習施設、物販施設となっている。

2. 奈良公園周辺での観光についてのアンケート調査結果

【実施概要】
 実施場所：近鉄奈良駅前広場、近鉄奈良駅バス停付近、登大路観光駐車場、県営高畑駐車場、県庁前公営ならまちセンター駐車場、春日大社、東大寺、
 実施日：平成20年7月5日（土）～平成20年7月6日（日）
 有効回収数：1,546票
 （近畿圏：約60%、関東圏：約15%、中部圏：約15%）
 実施主体：奈良県道路・交通環境課

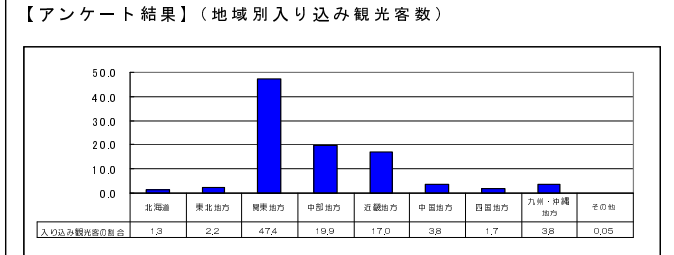
【アンケート結果】（抜粋）
 Q トイレ、観光案内所以外でどのような施設があれば良いと思いますか？
 A （下記の項目から選択・複数回答可）



【アンケート結果から分かること】
 ◇ 休憩施設（休憩所・待合所、ベンチ）の要望が最も高く、次に、飲食施設（喫茶店、料理店）の要望が高い。その他、物販施設（土産物産、売店）や浴室・温泉等の施設要望が高くなっている。

3. 奈良の観光についてのアンケート調査概要

【実施概要】
 実施日：平成19年12月15日～平成20年3月21日
 有効回収数：2,034票 実施主体：奈良市観光企画課
 実施対象：奈良市内の旅館宿泊者

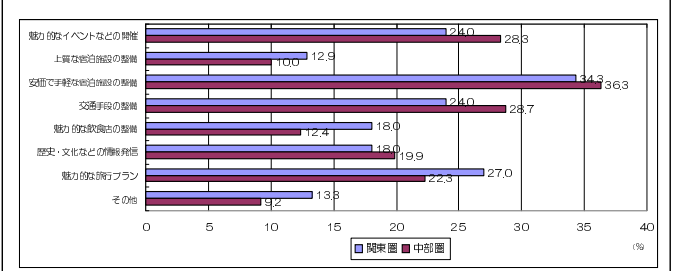


【アンケート結果から分かること】
 ◇ 宿泊する観光客の割合は、「関東地方」が最も多く47.4%、次いで「中部地方」が19.9%、「近畿地方」が17.0%と続く。他の地方はいずれも10%以下と少ない。

4. 首都圏・中部圏居住者の観光に関する調査結果概要

【実施概要】
 実施方式：インターネット 実施日：平成20年
 回答者：400人 実施主体：奈良市観光企画課
 実施対象：奈良県には観光で訪れたことのない人

【アンケート結果】（抜粋）
 Q 「条件が整えば訪れたい」と回答された方にお聞きします。どのような条件が整備されたらよいですか。
 A （下記の項目から選択・2つまで回答可）



【アンケート結果から分かること】
 ◇ 「安価で手軽な宿泊施設の整備」の割合が最も高く、また、「上質な宿泊施設の整備」も求められていることから、奈良を訪れる機会の創出には、幅広い宿泊施設の整備が必要と考えられる。
 ◇ 「魅力的なイベントなどの開催」や「魅力的な旅行プラン（体験・創作活動等）」といった、そこでしか味わえない特別な体験が求められていると考えられる。

各アンケート結果から…
 奈良公園に必要とされる主な機能

休憩機能

休憩所、トイレ、ベンチ等の休憩機能

体験学習機能

歴史文化や伝統産業等の体験学習機能

宿泊機能

簡易宿泊所から上質な宿泊施設までの幅広い宿泊施設

飲食物販機能

料理店、喫茶店、売店等の飲食物販機能

情報発信機能

情報発信施設、案内標識等の情報発信機能

アンケート3の結果より、アンケート4は、宿泊ニーズの割合が高い関東圏・中部圏の居住者を対象としたアンケートである。